

2003年7月3日

12～69才男女 5000人 調査

「インターネットは生活になくてはならないもの」に。**自宅でのインターネット利用者の51.9%がブロードバンドユーザー
ブロードバンドユーザーの半数以上が、「ほぼ毎日インターネットを利用」**

博報堂は、常時さまざまな生活者調査を実施しておりますが、このたび、本年3月に調査した生活者調査のなかから「ブロードバンドユーザーのインターネット利用状況」のデータがまとまりましたので、ご報告申し上げます。

このデータは、首都圏および関西の12～69才の男女合計5000名に対し、訪問面接調査で実施したもので、これによると、インターネット利用経験者は全体の61.7%でした。

また、自宅でのインターネット利用者（全体の53.7%）のうち、半数を超える51.9%が、ブロードバンド（高速大容量通信：光ファイバーケーブル、CATV、ADSL）ユーザーでした。

自宅でのインターネット利用者に利用頻度を質問したところ、ブロードバンドユーザーの半数を超える54.5%が「ほぼ毎日（週に6～7日位）利用する」と回答。ブロードバンド以外のユーザーの37.6%を大きく上回りました。また、ブロードバンドユーザーは、「ソフトなどのダウンロード（29.4%）」、「通信販売での商品・サービス購入（27.7%）」、「オークションへの参加（21.0%）」、「ストリーミングでの映像・音楽鑑賞（13.8%）」等の作業をインターネットで行う比率が、ブロードバンド以外のユーザーを大幅に上回っていました。

インターネットに関する意識でも、ブロードバンドユーザーの半数近い48.1%が「インターネットは生活にとってなくてはならないものだと思う」と回答しています。ちなみに、ブロードバンド以外のユーザーの同設問に対する回答は33.5%でした。ブロードバンドの登場が、生活者のインターネット依存度を高め、インターネットのさまざまなサービスの利用を促進している実態が明らかとなりました。

調査概要

調査時期：2003年3月

調査地域：東京40km圏および大阪/京都/神戸

調査対象：12～69才男女 合計5000名（人口比で割り付け）

調査方法：訪問面接調査

本件に関するお問い合わせ

株式会社博報堂 広報室

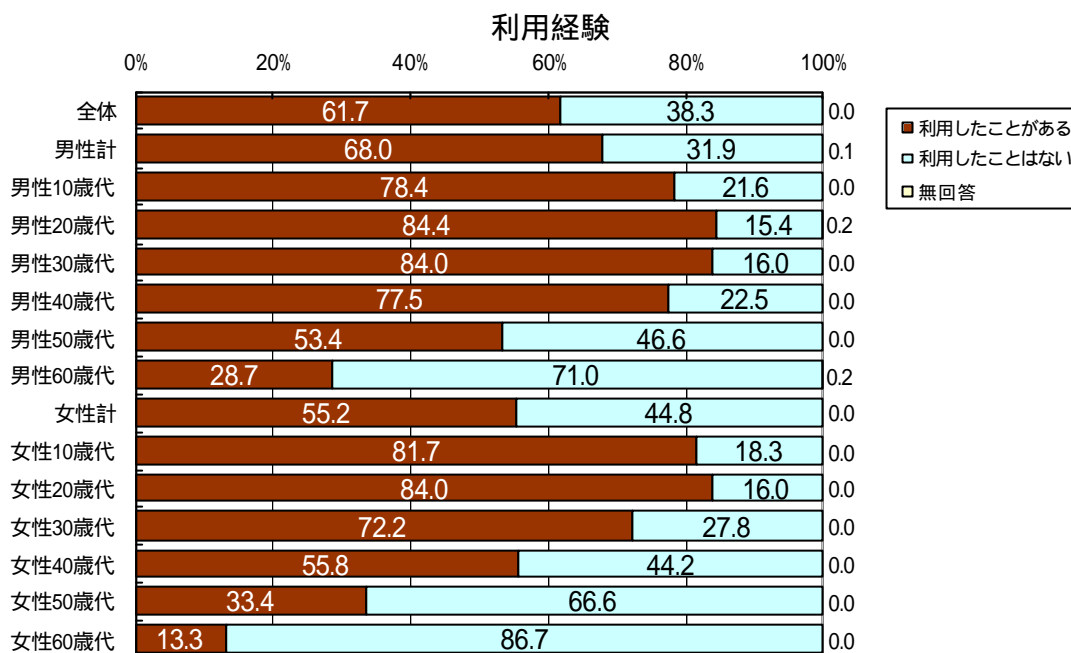
宮川 泉谷 西村

Tel：03-5446-6161

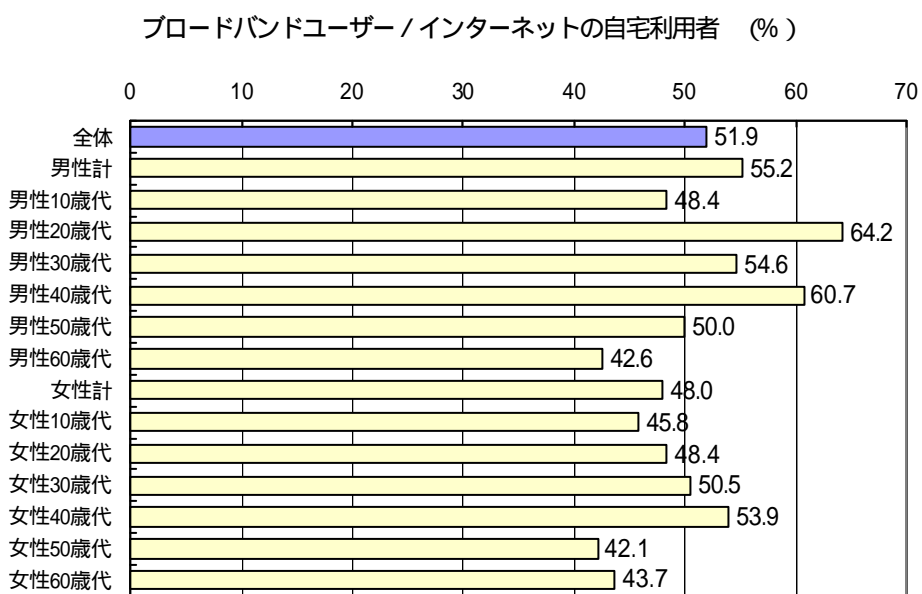
Fax：03-5446-6166

調査データ

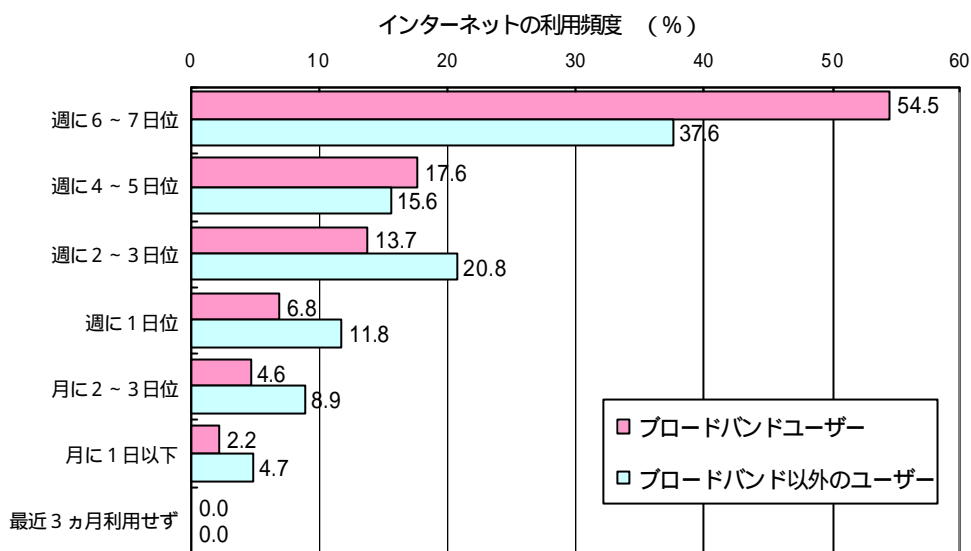
インターネット利用経験者の全体平均は 61.7%。但し、男女、年代によって差がかなりあり、男性の10～40代と女性10～30代は利用経験70%以上であるのに対し、男女とも60代は30%以下となっています。



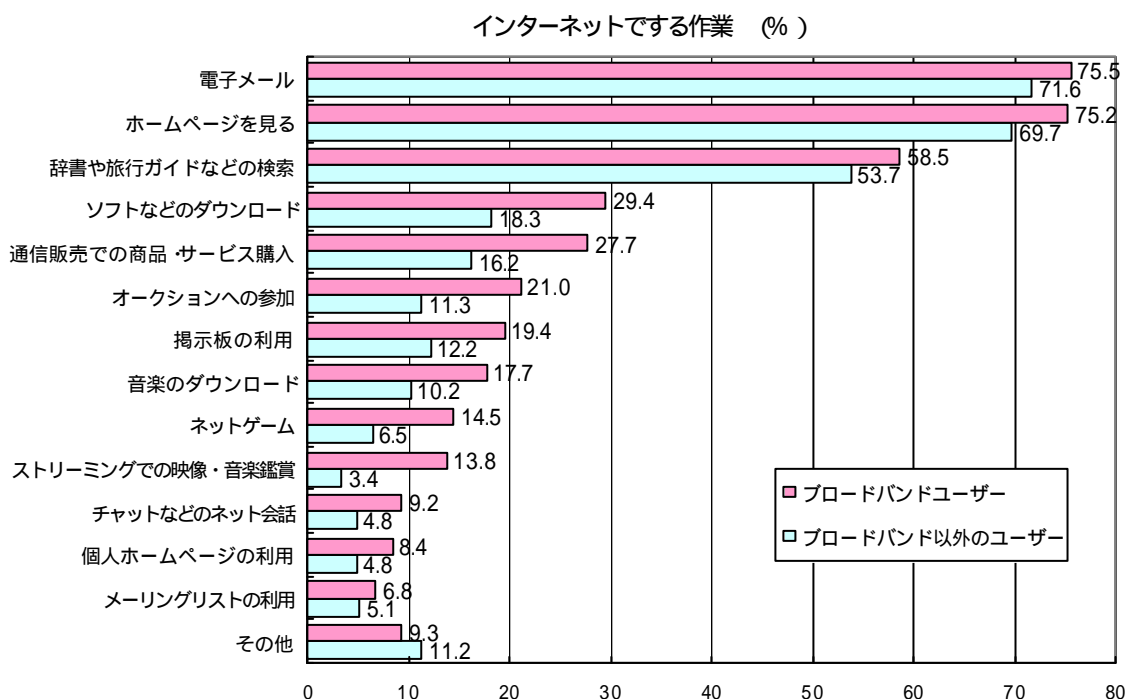
インターネットの自宅利用者(全体の 53.7%)のうちブロードバンドユーザーは、半数を超える 51.9%。男性計は 55.2%、女性計は 48.0%で、男性の方がブロードバンドユーザー比率が高くなっています。また、女性でブロードバンドユーザー比率が最も高いのは40代でしたが、これはブロードバンドにより、家庭での共用が増えているためと考えられます。



インターネットの自宅利用者の利用頻度については、ブロードバンドユーザーのうち 54.5%がほぼ毎日にあたる「週に6～7日位使う」と回答したのに対し、同設問へのブロードバンド以外のユーザーの回答は37.6%に留まっています。



インターネットでする作業については、ブロードバンドユーザーも、ブロードバンド以外のユーザーも多いのは「電子メール」「ホームページを見る」ですが、ブロードバンドユーザーは「ソフトなどのダウンロード(29.4%)」、「通信販売での商品・サービス購入(27.7%)」、「オークションへの参加(21.0%)」、「ストリーミングでの映像・音楽鑑賞(13.8%)」等の項目で、ブロードバンド以外のユーザーを大きく上回っています。



インターネットの自宅利用者に、インターネットに関する意識を質問したところ、「インターネットで自分の世界が広がるのが楽しい」、「インターネットは生活にとってなくてはならないものだと思う」という設問で、ブロードバンドユーザーはブロードバンド以外のユーザーの回答を大きく上回っています。

